慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	渡辺幸男教授 略歴・著作目録
Sub Title	Biographical sketch and writings of Professor Yukio Watanabe
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	2013
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics=Mita journal of economics). Vol.105, No.4 (2013. 1) ,p.797(275)- 802(280)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-20130101-0275

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

渡辺　幸男教授　略歴・著作目録

＊ 2013年3月31日をもって慶應義塾大学
経済学部を定年退職するのにともない，
本学会を退会する会員の略歴・著作目録
を次頁以下に掲載します。

本誌編集委員会

渡辺　幸男教授　略歴・著作目録

略　　歴

1948年３月　川崎市に生まれる

1966年４月　慶應義塾普通部，同高等学校を経て，慶應義塾大学経済学部入学

1970年３月　同学部卒業

1970年４月　慶應義塾大学経済学研究科修士課程入学

1972年３月　同課程修了　経済学修士

1972年４月　慶應義塾大学経済学研究科博士課程入学

1977年３月　同課程単位取得退学

1977年４月　慶應義塾大学経済学部助手

1983年４月　同　助教授

1985年３月～1987年 3月　ロンドン大学 LSE にて在外研究

1990年４月～2013年 3月　慶應義塾大学経済学部教授，経済学研究科委員

1991年10月～1995年 9月　経済学部運営委員

1998年11月　義塾賞受賞

1999年２月　中小企業研究奨励賞特賞受賞

1999年３月　博士（経済学）

2004年10月～2007年 9月　日本中小企業学会会長

2005年10月～2007年 9月　経済学部運営委員

2007年４月～2011年 3月　日本学術振興会産学協力委員会産業構造・中小企業第 118 委員会委員長

2010年 4月～2011年 3月　慶應義塾経済学会会長

所属学会

日本中小企業学会（常任理事），中国経営管理学会

主要業績

〈主要著作〉

単　著

『日本機械工業の社会的分業構造――階層構造・産業集積からの下請制把握』有斐閣，1997年。

『大都市圏工業集積の実態――日本機械工業の社会的分業構造　実態分析編 1』慶應義塾大学出版会，1998年。

『現代日本の産業集積研究――実態調査研究と論理的含意』慶應義塾大学出版会，2011年。

共　著

『21 世紀中小企業論――多様性と可能性を探る』（小川正博・黒瀬直宏・向山雅夫との共著）有斐閣，2001年。

編　著

『日本と東アジアの産業集積研究』同友館，2007年。

共編著

『東アジア自転車産業論――日中台における産業発展と分業の再編』（駒形哲哉，周立群との共編著）慶應義塾大学出版会，2009年。

〈主要論文〉

「中小資本部門の競争について」 修士論文，1972年。

「零細規模経営増加についての分析」『三田学会雑誌』67 巻 10 号，1974年 10月。

「高成長と機械工業中小企業の問題性」『三田経済学研究』12/13 号，1975年度。

「大都市における機械工業零細経営の機能と存立基盤」『三田学会雑誌』72 巻 2 号，1979年 4月。

「城東・城南の機械金属加工業」（佐藤芳雄編著『巨大都市の零細工業――都市型末端産業の構造変化』日本経済評論社，1981年所収）。

「下請企業の競争と存立形態――「自立」的下請関係の形成をめぐって」（上）『三田学会雑誌』76 巻 2 号，1983年 6月，（中）『同』76 巻 5 号，1983年 12月，（下）『同』77 巻 3 号，1984年 8月。

「下請・系列中小企業」（中小企業事業団・中小企業研究所編『日本の中小企業研究 第 1 巻〈成果と課題〉』有斐閣，1985年所収）。

「日本機械工業の下請生産システム――効率性論の意味するもの」『商工金融』35 巻 2 号，1985年 2月。

「英国工業中小企業の動向―― 中小企業政策の意味するもの」『三田学会雑誌』80 巻 3 号，1987年 8月。

「英国中小企業政策の最近の動向とその特徴」『商工金融』1987年 11月。
「日本機械工業の社会的分業構造——下請制研究の新たな視座をもとめて」(上)『三田学会雑誌』82 巻 3 号, 1989年 10月, (下)『同』82 巻 4 号, 1990年 1月。
「下請・系列中小企業」(中小企業事業団・中小企業研究所編『日本の中小企業研究 1980–1989 第 1 巻〈成果と課題〉』同友館, 1992年所収)。
「機械工業の海外生産化と国内工業集積の再編成」『商工金融』44 巻 7 号, 1994年 7月号。
「日本とアジア——製造業企業の東アジア展開と国内工業基盤の変化」『三田学会雑誌』87 巻 2 号, 1994年 7月。
「下請中小企業と系列——受注生産型中小企業の従属的成長から自立的成長への道」『ビジネスレビュー』Vo.43 No.2, 1995年 10月。
「中小製造業のパラダイム転換」『三田商学研究』38 巻 6 号, 1996年 2月。
「産業空洞化と中小企業「事例を中心に見た機械工業における構造変化の内容」」『商工金融』46 巻 8 号, 1996年 8月。
「中小企業政策とは何か——いわゆるリストラ支援法による中小企業海外進出支援をめぐって」(小林靖雄, 瀧澤菊太郎編『中小企業研究五十五年　中小企業とは何か』有斐閣, 1996年所収)。
「日本機械工業の範囲と統計的推移の分析——社会的分業構造把握のために」『三田学会雑誌』90 巻 1 号, 1997年 4月。
「日本機械工業の地域集積と地域分業構造の再編成」「日本的生産システムの未来への展望(共著)」(三井逸友編著『日本的生産システムの評価と展望——国際化と技術・労働・分業構造』ミネルヴァ書房, 1999年所収)。
「事例に見る中小企業のファブレス化論理とその意義」『経済学論纂』41 巻 5 号, 2001年 3月。
「国内産業集積の展望——燕の産業集積の発展可能性を例に」『商工金融』52 巻 1 号, 2002年 1月。
「中国浙江省温州市産業発展試論——温州市工業・企業発展把握の仮説的フレームワークの提示とその若干の検討」『三田学会雑誌』94 巻 3 号, 2001年 10月。
「日本中小製造業のパラダイム転換——日本の機械工業における効率的な独自な下請関係の解体」『国民金融公庫調査月報』492 号, 2002年 4月。
「中国浙江省温州市産業発展試論　その 2——温州市産業機械メーカーの形成と意味」『三田学会雑誌』95 巻 3 号, 2002年 10月。
「下請・系列中小企業」((財)中小企業総合研究機構編『日本の中小企業研究 1990–1999 第 1 巻〈成果と課題〉』同友館, 2003年所収)。
「産地型産業集積の有効性とその意義の変化——アパレル製品産地企業事例を通して」『商工金融』53 巻 6 号, 2003年 6月。

「「グローバル経済」下での国内製造業中小企業の存立展望と中小企業政策への含意」『大原社会問題研究所雑誌』540 号，2003年 11月。
「岩手県機械・金属産業集積の変貌と中小企業の存立展望」『企業環境研究年報』8 号，2003年 12月。
「温州産業発展試論——自立・国内完結型・国内市場向け産業発展，その意味と展望」『三田学会雑誌』96 巻 4 号，2004年 1月。
「誘致工場と産業集積の形成——その可能性と限定性」『三田学会雑誌』99 巻 1 号，2006年 4月。
「地域経済の自立に果たす中小企業の役割——（地域の）経済的自立にとっての中小企業の必要性と重要性」『商工金融』56 巻 7 号，2006年 7月。
「国内産地型産業集積の解体と産地企業の展望——堺の自転車部品産業集積を例に」『信用保険月報』49 巻 4 号，2006年 9月。
「もの作りの中小企業の可能性——東アジア化の下での国内立地製造業中小企業の存立展望」『商工金融』56 巻 12 号，2006年 12月。
「日本の産業発展の中国産業発展への示唆——機械工業の発展を中心に」『三田学会雑誌』100 巻 2 号，2007年 7月。
「日系企業にとっての東アジア化の意味——自転車産業を例に」『三田学会雑誌』101 巻 2 号，2008年 7月。
「「日本機械工業の社会的分業構造」再論——慶應義塾経済学会コンファレンスでの課題提起に応えて」『三田学会雑誌』101 巻 4 号，2009年 1月。
「「日本機械工業の社会的分業構造」再論——『中小企業白書』での「メッシュ化」論と山脈構造型社会的分業構造把握」（植田浩史・粂野博行・駒形哲哉共編著『日本中小企業研究の到達点——下請制，社会的分業構造，産業集積，東アジア化』同友館，2010年所収）。
「産業集積調査からの産業集積論への理論的示唆——日本の機械金属工業調査を踏まえて」『社団法人中小企業研究センター年報　2010』同所，2010年 10月。
「日本製造業の東アジア化とその意味——“ガラパゴス大島”と日本自転車産業」『信用金庫』65 巻 1 号，2011年 1月。
「自動車の EV 化と中小企業」『商工金融』61 巻 7 号，2011年 7月。
「下請・系列中小企業」（㈶中小企業総合研究機構編『日本の中小企業研究 2000–2009 第 1 巻〈成果と課題〉』同友館，2013年所収）。
「産業論の論理的枠組みと中国」『三田学会雑誌』105 巻 3 号，2012年 10月。